

大阪支社 TEL 06(6942)2601  
osaka@decn.co.jp  
名古屋支社 TEL 052(961)2631  
nagoya@decn.co.jp  
横浜支社 TEL 03(3433)7154  
yokohama@decn.co.jp  
関東支社 TEL 03(3433)7154  
kanto@decn.co.jp  
東北支社 TEL 022(222)4222  
tohoku@decn.co.jp  
九州支社 TEL 092(741)4605  
kyusyu@decn.co.jp

北海道総局 TEL 011(261)7653  
hokkaido@decn.co.jp  
千葉総局 TEL 03(3433)7154  
chiba@decn.co.jp  
北陸総局 TEL 025(229)5411  
hokuriku@decn.co.jp  
中国総局 TEL 082(221)7236  
hiroshima@decn.co.jp  
四国総局 TEL 087(837)5072  
shikoku@decn.co.jp

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp 広告 電話03-3433-7154 eigyo@decn.co.jp

発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 https://www.decn.co.jp/ ©日刊建設工業新聞社 2024

### 3Dモデル

## 国交省 分野横断技術政策WG AIで高精度な作成提言

国土交通省の「分野横断的技術政策ワーキンググループ(WG)」は4日、同省所管分野で技術開発や社会実装の加速に向け、分野連携の方向性などを議論する会合の第2回を東京都内で開いた。設計から施工、維持管理まで一貫して活用できる高精度な3Dモデルの構築に向け、AIによる

モデル作成などの取り組みを共有した。

京都大学大学院工学研究科教授の須崎純一委員が、BIM/CIMデータの普及に向けた課題と今後の方策について意見を述べた。設計段階で作成された3Dモデルが現場で使用されず、施工会社が作業方法に応じて作り直すケースが多

い現状を説明。高精度な3Dモデルを作る技術者が少なく、作成コストも高いことから設計から施工まで一貫した活用が進んでいないと指摘した。

期待できる解決策として、AIが部材リストなどを画像解析し、自動で3Dモデルを作成する技術を紹介した。作業工数を10分の1に減らせるほか、施設運用などFM(ファシリティーマネジメント)への活用も期待できるとした。建設以外の分野からの意見として、クボタは「スマート農業」の構想を説明した。

野▽岐阜▽静岡▽大阪▽鳥取▽徳島▽愛媛▽高知▽福岡▽長崎▽熊本▽大分▽宮崎▽沖縄の18府県、▽札幌▽川崎▽静岡▽浜松▽堺▽福岡の6政令市。